

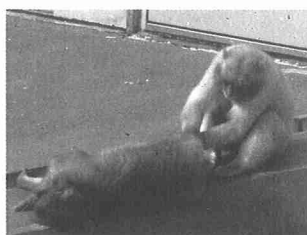
連載シリーズ 「実験生物ものがたり」

実験生物ものがたり 3

おサル

石田 貴文 (生物科学専攻)
tishida@biol.s.u-tokyo.ac.jp

「エー」、「ソノー」、「ウーン」・・・
 答えに窮して頭に手をやったりした
 ことはありませんか？ 気まずい状
 況、面接の時、想いを告白する
 とき・・・髪の毛をいじったり、鼻を
 こすったり、身体がムズムズして掻
 いたりしたことがあるでしょう。一
 口で言ったらストレスを感じるとこ
 のような動作が出ます。それでは写
 真を見て下さい。一番上の方は
 さておき、2頭のニホンザルに
 登場してもらいます。ニホンザ
 ルは旧世界ザルのマカクという
 グループに属し、ヒトから見
 とチンパンジーと言った類人猿
 よりも1まわり離れた霊長類の
 仲間です。さて、2頭のサルが出
 会った後、ちょっとした諍いがあり
 ました（これはストレスです）。サ
 ル達は互いに距離をとります。そし
 て、ボリボリと身体を掻くことをし
 ます。このような動作は、諍いのあ
 と頻繁に、そして徐々に間隔が開き
 やがて消えます。落ち着いた（ある
 いは落ち着きたい）サルは他のサル
 の毛づくろい（これはコミュニケー
 ションの1種です）を始めました。



私達も同じ様なことを日常生活で
 やっていることに思い当たりません
 か？

このように、我々ヒトのミラーサ
 イトとして類人猿やサルは、人類と
 その進化を理解する上で欠かすこと
 のできない生き物です。ヒトの比較
 研究にはチンパンジーはもちろんで
 すが、マカクにも利点があります。
 1つは、ヒトに遠からず近からず
 ということで差を見ることができます。
 また、マカクは多くの種に分化
 し、広い地理的分布・生態学的地位
 を占め、環境適応や遺伝的多様性の
 比較研究に優れています。そして、

ヒトのモデル生物としてゲノ
 ム研究、行動観察、社会研究だ
 けでなく、色々な実験研究にも
 用いられます。ヒトは遺伝的に
 は多様性の少ない生物ですが、
 色々なヒトがいます。多様性を
 背景とした非純系の生物学の
 担い手としてもマカクは重要です。

極端な擬人化やヒト中心の解釈は
 危険ですが、私たちの隣人（隣猿？）
 は沢山のことを教えてくれます。み
 なさんもストレスがかかったかなと
 思ったら、動物園に行って隣人に会
 ってきてはどうでしょう。